



## 平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月9日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 岩田 弘三  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長兼経理部部长 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月10日 配当支払開始予定日 平成27年1月19日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年4月期第2四半期の連結業績（平成26年5月1日～平成26年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	23,660	△1.3	604	7.4	624	5.3	297	△7.3
26年4月期第2四半期	23,983	—	562	—	593	—	321	—

(注) 包括利益 27年4月期第2四半期 330百万円 (5.2%) 26年4月期第2四半期 313百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第2四半期	22.43	—
26年4月期第2四半期	24.21	—

(注) 平成25年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成26年4月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年4月期第2四半期	28,630	23,289	81.3	1,753.68
26年4月期	28,441	23,251	81.8	1,750.82

(参考) 自己資本 27年4月期第2四半期 23,289百万円 26年4月期 23,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
27年4月期	—	18.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	22.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年4月期の連結業績予想（平成26年5月1日～平成27年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,700	1.5	1,877	14.4	1,912	13.9	1,108	18.6	83.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年4月期2Q	13,394,374株	26年4月期	13,394,374株
② 期末自己株式数	27年4月期2Q	113,977株	26年4月期	113,829株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年4月期2Q	13,280,481株	26年4月期2Q	13,280,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成26年12月11日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年5月1日～平成26年10月31日）におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる駆け込み需要に対する反動は和らいでいるものの、円安に伴う輸入材の価格上昇などにより依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、販売時にお客様へ商品の付加価値をお伝えすることや、こまめにケース内の商品を整理するなどの丁寧な販売や、閉店までお買い物を楽しんでいただけるような品揃えを行う積極的な販売に取り組んでまいりました。店舗の規模や立地により品揃えに変化をつけた商品展開を行う基本品揃えを行いながら、閉店間際だけではなく朝の開店時、昼前、夕方のピーク前にしっかりと商品を取り揃えることで売上の確保を図りました。明日以降もお召し上がりいただけるおそうざい、パーソナルギフトとしてご利用いただけるおそうざいの開発も継続して行いました。天候不順や耐震補強工事に伴う店舗の一時休業などによる売上への影響もありましたが、人件費や経費のコントロールを行うことにより当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は23,660百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は604百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益は624百万円（前年同期比5.3%増）、四半期純利益は297百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成26年4月期 第2四半期（連結）		平成27年4月期 第2四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	10,192	42.5	9,840	41.6	96.5
	フライ	4,012	16.7	4,018	17.0	100.1
	その他そうざい	3,078	12.9	3,015	12.8	97.9
	小計	17,283	72.1	16,873	71.4	97.6
神戸コロッケ		1,686	7.0	1,494	6.3	88.6
いとはん		1,684	7.0	1,736	7.3	103.0
融合		362	1.5	467	2.0	129.1
ベジテリア		1,031	4.3	860	3.6	83.4
グリーン・グルメ		1,827	7.6	2,091	8.8	114.4
その他		106	0.5	137	0.6	128.6
合計		23,983	100.0	23,660	100.0	98.7

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、スーパーや青果店における天候不順による野菜の価格高騰の影響もあり、サラダを中心に好調に推移しました。また、レジ付近のフライの品数を増やし、サラダをお買い上げいただいたお客様にプラスワン商品としてご提案できるような売場づくりを行いました。秋口には温かいシチューとパイ生地を組み合わせた新商品のポットパイやグラタンをおすすめすることで買い合わせの促進に繋げました。その結果、売上高は16,873百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、につぼんの魅力を再発見するコロッケと題した新商品を導入いたしました。週替わりでの定番コロッケの販売強化の取り組みとして、こまめな揚げたて商品の提供とセールストークによる商品価値の訴求に努めました。お買い上げ点数の増加に繋げることが出来ず、売上高は1,494百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、素材のおいしさを堪能していただける旬の柿やさんま等を使用した和さだや和え物を展開しました。なかでも付加価値の高い和風のローストビーフサラダや、旬の無花果と燻製チキンを合わせたサラダが人気を博し売上を牽引しました。また、季節野菜を取り入れた月替わりのフライ商品をおつまみとしておすすめするなど、客単価アップに貢献しました。その結果、売上高は1,736百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、美容をテーマにした巨峰やいちじく等のジュースを導入し、女性のお客様を中心に大好評をいただきました。また、気温の変化に合わせてジュースやスープの試飲販売を行い、行列が絶えない売場を目指しましたが、冷夏や台風等による客数減少の影響を受け、売上高は860百万円(前年同期比16.6%減)となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて189百万円増加し、28,630百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加449百万円、売掛金の増加74百万円、有形固定資産の減少336百万円によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて151百万円増加し、5,341百万円となりました。これは主に、買掛金の増加126百万円、未払法人税等の増加52百万円、リース債務(短期リース債務を含む)の減少172百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べて37百万円増加し、23,289百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は81.3%、1株当たり純資産額は1,753円68銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月10日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,731	9,180
売掛金	3,754	3,829
製品	57	71
仕掛品	81	110
原材料及び貯蔵品	503	470
その他	448	459
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,576	14,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,193	7,056
土地	2,948	2,948
その他(純額)	1,961	1,761
有形固定資産合計	12,102	11,766
無形固定資産		
その他	584	565
無形固定資産合計	584	565
投資その他の資産		
その他	2,187	2,186
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	2,177	2,176
固定資産合計	14,865	14,508
資産合計	28,441	28,630
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,138	1,264
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払法人税等	267	320
賞与引当金	494	506
その他	2,675	2,747
流動負債合計	4,587	4,849
固定負債		
長期借入金	98	93
その他	503	397
固定負債合計	602	491
負債合計	5,189	5,341

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	11,964	11,970
自己株式	△209	△210
株主資本合計	23,160	23,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	64
為替換算調整勘定	50	59
その他の包括利益累計額合計	91	123
純資産合計	23,251	23,289
負債純資産合計	28,441	28,630

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	23,983	23,660
売上原価	10,242	10,062
売上総利益	13,741	13,597
販売費及び一般管理費	13,178	12,993
営業利益	562	604
営業外収益		
受取配当金	3	4
保険配当金	14	12
貸倒引当金戻入額	12	—
その他	10	10
営業外収益合計	39	26
営業外費用		
為替差損	6	4
その他	3	1
営業外費用合計	9	6
経常利益	593	624
特別損失		
固定資産除却損	—	18
減損損失	0	73
特別損失合計	0	91
税金等調整前四半期純利益	592	532
法人税等	271	234
少数株主損益調整前四半期純利益	321	297
少数株主利益	—	—
四半期純利益	321	297



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	321	297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	23
為替換算調整勘定	9	9
その他の包括利益合計	△7	32
四半期包括利益	313	330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313	330
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	592	532
減価償却費	877	834
賞与引当金の増減額(△は減少)	15	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	—
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	1	0
固定資産除却損	—	18
減損損失	0	73
売上債権の増減額(△は増加)	46	△73
たな卸資産の増減額(△は増加)	△146	△10
仕入債務の増減額(△は減少)	93	125
その他	△18	82
小計	1,433	1,591
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△560	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	876	1,362
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120	△20
有形固定資産の取得による支出	△361	△296
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△65	△62
長期前払費用の取得による支出	△119	△65
差入保証金の差入による支出	△25	△11
差入保証金の回収による収入	16	18
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674	△438
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	85	—
長期借入金の返済による支出	△155	△5
リース債務の返済による支出	△219	△201
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△291	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△582	△499
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△374	429
現金及び現金同等物の期首残高	8,603	8,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,228	8,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。